

大田区の 景況

平成 23 年 10 月～12 月期

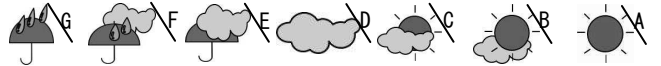
調査対象

製造業 162 社 小売業 90 社

調査方法 郵送アンケート調査

調査機関 (株)東京商工リサーチ

景気予報



大きく下降 下降 やや下降 横ばい やや上昇 上昇 大きく上昇

これは、平成 23 年 12 月下旬に調べた平成 23 年 10 月～12 月期区内中小企業の景気動向と、これから先 3 か月（平成 24 年 1 月～3 月期）の予想をまとめたものです。

製 造 業	今 期		<p>製造業全体の主要指標について見ますと、業況は水面下ながら大幅に改善しています。売上額と収益はいずれも減少に大きく歯止めがかかりました。受注残もかなり持ち直しています。</p> <p>価格面では、販売価格は厳しさが若干和らぎ、原材料価格は上昇傾向をわずかに強めました。在庫は過剰感がやや緩和しました。来期の販売価格は下降幅がわずかに縮小し、原材料価格は上昇が幾分強まると予想されています。</p> <p>業況が大幅に改善した要因としては、「売上額は減少に大きく歯止めがかかり」「販売価格は厳しさが若干和らぎ」に見られる売上の改善と、それらによる収益の改善が考えられます。</p>
	来 期		<p>経営上の問題点は、1 位「売上の停滞・減少」67%、2 位「利幅の縮小」31%、3 位「同業者間の競争の激化」と「販売納入先からの値下げ要請」がともに 20%、4 位「工場・機械の狭小・老朽化」18%、5 位「原材料高」17%となりました。前期と比較した主な動きは、「販売納入先からの値下げ要請」は増加しましたが、「売上の停滞・減少」「同業者間の競争の激化」「原材料高」は減少しました。</p> <p>重点経営施策では、1 位「販路を広げる」62%、2 位「経費を節減する」58%、3 位「新製品・技術を開発する」28%、4 位「情報力を強化する」22%、5 位「人材を確保する」16%となりました。前期の 1 位と 2 位が入れ替わりましたが、3 位から 5 位までは四期連続で同順位となりました。</p> <p>来期の業況はわずかに深刻さを増すと見込まれています。</p>

小 売 業	今 期		<p>小売業全体の主要指標について見ますと、業況は低調感を極端に強めています。売上額は大きく減少を強め、収益は特に大幅に低迷しています。</p> <p>価格面では、販売価格は前期並の下降が続き、仕入価格は変動なく推移しました。在庫は適正水準に保たれています。来期の販売価格は下降幅が大きく拡大し、仕入価格はほぼ横這いで推移すると見込まれています。在庫は適正水準が続くと思われます。</p> <p>業況が極端に低迷した要因としては、「売上額は大きく減少を強め」「販売価格は前期並の下降」に見られる売上の低迷と、それらによる収益の低迷が考えられます。</p>
	来 期		<p>経営上の問題点は、1 位「売上の停滞・減少」71%、2 位「同業者間の競争の激化」と「商店街の集客力の低下」がともに 24%、3 位「利幅の縮小」20%となりました。前期と比較した主な動きは、「利幅の縮小」「売上の停滞・減少」は減少しましたが上位を占め、「同業者間の競争激化」「大型店との競争の激化」は増加しました。</p> <p>重点経営施策では、1 位「経費を節減する」50%、2 位「品揃えを改善する」26%、3 位「売れ筋商品を取扱う」20%となりました。</p> <p>来期の業況は大きく改善傾向が見られると予想されています。</p>

経営上の問題点

経営上の問題点（製造業）（％）

	平成22年 10～12月期	平成23年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
1位	売上の停滞・減少 76	売上の停滞・減少 72	売上の停滞・減少 66	売上の停滞・減少 71	売上の停滞・減少 67
2位	利幅の縮小 33	原材料高 33	原材料高 32	利幅の縮小 29	利幅の縮小 31
3位	同業者間の競争の激化 27	利幅の縮小 27	利幅の縮小 30	原材料高 24	同業者間の競争の激化 20
4位	販売納入先からの値下要請 23	同業者間の競争の激化 21	同業者間の競争の激化 21	同業者間の競争の激化 23	販売納入先からの値下要請 20
5位	原材料高 20	工場・機械の狭小・老朽化 18	工場・機械の狭小・老朽化 20	販売納入先からの値下要請 17	工場・機械の狭小・老朽化 18

経営上の問題点（小売業）（％）

	平成22年 10～12月期	平成23年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
1位	売上の停滞・減少 76	売上の停滞・減少 74	売上の停滞・減少 69	売上の停滞・減少 74	売上の停滞・減少 71
2位	商店街の集客力の低下 39	同業者間の競争の激化 29	利幅の縮小 31	利幅の縮小 26	同業者間の競争の激化 24
3位	同業者間の競争の激化 24	利幅の縮小 28	同業者間の競争の激化 28	商店街の集客力の低下 24	商店街の集客力の低下 24
4位	利幅の縮小 20	仕入先からの値上げ要請 19	取引先の減少 23	同業者間の競争の激化 20	利幅の縮小 20
5位	取引先の減少 18	商店街の集客力の低下 16	大型店との競争の激化 18	取引先の減少 18	大型店との競争の激化 19

コメント

製造業

- ①三次元測定機による測定代行を始めた事により、加工の減少をカバーできているようだ。（輸送用機械器具）
- ②新製品、新技術の市場投入を急いでおり、来年度に向けて、早期構築が課題である。（同上）
- ③長期借入金は滞ることなく返済出来ており、多少の賞与も支給できる経営状況だが、設備投資をする余裕がなく、機械が老朽化していくのが問題である。（電気機械器具）
- ④タイの洪水により、親企業の生産量が減少し、特に11月が悪かった。今の所1～3月は増産予定だが、HDDの調達如何で、来年1～3月期も低迷する可能性もある。（同上）
- ⑤受注残高は徐々に回復傾向にある。（一般機械器具、金型）
- ⑥タイに生産移行をしていた客先の工場の洪水被害により、一時的に生産が日本国内に戻ってきた。また、工作機械の被害が1万台以上と言われ、復興特需により半年間程の期間、売上増加となるが、その先の見通しは不明である。（同上）
- ⑦震災復興関連で、緩やかに増加している。（金属製品、建設用金属、金属プレス）
- ⑧低いレベルで安定していると思われる。中々打開策を見つけられない。（同上）
- ⑨震災の影響で文教予算の動きが遅れた為、11月・12月に集中して発注が来たが、来年に関しては不透明である。教育分野の中で新規事業を立ち上げたいと考えている。（精密機械器具）
- ⑩先の見えない状況が続いているが、ものづくりに対する向上心を失うことのないように努力を続けている。（同上）

小売業

- ①売上高の見通しは全く立たない。新事業を始める工夫をしていく。（家具、家電、医薬品）
- ②競合店が相次いで開店した為、地域の顧客が分散化し、来店客数が減少して、売上も減少している。商圈の拡大、顧客の更なる囲い込み、来店モチベーションアップを図っていく。（飲食店）
- ③売上の減少に悩み、支店を開設したところ、売上はかなり向上した。一息つけそうだが、前期決算は大幅赤字となる。来期は利益を出せそうだが、苦しい。（飲食料品）
- ④当店の周りに大手安売りチェーン店が4店舗もでき、何とかしてもらいたいものである。（同上）
- ⑤9月下旬まで30度を越えた日が続く、各職場で10月末迄クールビズが続く、当社には大変な逆境であった。しかし、10月・11月はその反動で販売増となった。（衣服、身の回り品）

特別調査「電力不足に伴う中小企業への影響と対応について」

問1. 電力不足が及ぼした影響

(単位:%)

業種	売上高への影響				経費への影響			
	増加要因	どちらとも いえない	減少要因	電力不足は 当社には 関係ない	増加要因	どちらとも いえない	減少要因	電力不足は 当社には 関係ない
全体	1.3	45.8	24.6	28.4	8.6	46.4	18.9	26.2
製造業	1.3	51.3	19.1	28.3	9.9	52.6	14.5	23.0
小売業	1.2	35.7	34.5	28.6	6.2	34.6	27.2	32.1

問2. 電力不足を受けての対応 (3つまで回答可)

(単位:%)

業種	照明・エアコンなどによる節電	機械設備・装置などの停止による節電	営業日や就業時間の見直し・短縮	夏期休暇日数の増加	省エネ機器(LED等)の導入	独自の電力源の確保(自家発電等)	新商品・サービス等の検討・開始	取引先の変更・見直し	クールビズの実施	その他	特に対応はとらなかった
全体	85.5	18.2	21.9	5.8	12.4	0.0	2.5	0.4	14.5	1.7	10.7
製造業	85.3	23.7	21.8	7.7	7.7	0.0	2.6	0.6	14.1	1.3	10.9
小売業	86.0	8.1	22.1	2.3	20.9	0.0	2.3	0.0	15.1	2.3	10.5

問3. 電力不足時の今後の対策 (3つまで回答可)

(単位:%)

業種	こまめな節電の継続・強化	営業日や就業時間の見直し・短縮	省エネ機器・設備の導入	独自の電力源の確保(自家発電等)	業務の縮小	新商品・サービス等の検討・開始	事業拠点の移転	長期休業・廃業	その他	対策は必要ない
全体	87.7	30.0	19.3	1.6	7.8	3.7	1.2	0.4	1.6	8.6
製造業	87.9	35.0	21.0	1.9	7.0	3.2	0.0	0.6	1.3	8.3
小売業	87.2	20.9	16.3	1.2	9.3	4.7	3.5	0.0	2.3	9.3

問4. 電力不足時に日本社会全体がとりうる対策 (3つまで回答可)

(単位:%)

業種	再生可能エネルギー(太陽光、風力等)の積極導入	原子力発電所の安定的な再稼働	地域間での電力の融通促進	電力の完全自由化	省エネ機器等の導入支援策(エコポイント等)	電力使用制限令の継続・強化	サマータイム制の導入	事業拠点の海外移転	その他	有効な対策はない
全体	61.8	28.2	30.3	38.2	21.8	8.8	13.0	0.8	0.4	10.9
製造業	62.3	31.8	33.8	38.3	21.4	7.8	12.3	1.3	0.0	11.7
小売業	60.7	21.4	23.8	38.1	22.6	10.7	14.3	0.0	1.2	9.5

問5. 利用拡大が望まれるエネルギー (3つまで回答可)

(単位:%)

業種	太陽光	風力	水力(小規模なものを含む)	地熱	バイオマス(木材、生ごみ等の有機物)	天然ガス(火力)	石油・石炭(火力)	原子力	その他	特にない
全体	75.9	33.3	26.2	27.0	19.4	31.6	5.5	14.3	2.1	7.2
製造業	72.3	31.0	27.1	27.1	16.8	32.9	5.8	17.4	3.2	8.4
小売業	82.9	37.8	24.4	26.8	24.4	29.3	4.9	8.5	0.0	4.9

東京都内の概況／業況：製造業はやや低迷、小売業は大幅に上向く

見通し：小売業で特に大きく改善の見込み

概況

平成 23 年 12 月の都内中小企業の業況 D I（業況が「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合）は－38 となり、前期に比べて 3 ポイント改善しました。今後 3 か月（平成 24 年 1～3 月）の業況見通し D I では、今期比 21 ポイント増の－17 と特に大幅に悪化幅が縮小すると見込まれています。

製造業

前期（23 年 9 月）と比較すると、業況はわずかに悪化が強まり、売上高は前期並の減少が続いています。

価格面では、販売価格は前期同様の低下基調で推移し、仕入価格は上昇傾向をわずかに強めました。

業種別に見ますと、「紙・印刷」「その他」は特に大きく改善し、「電気機器」は大きく持ち直しました。「衣料・身の回り品」「住宅・建物関連」「材料・部品」「一般・精密機械等」は深刻さをかなり増しました。

今後 3 か月の見通しの業況は大きく改善傾向が見られ、売上高は今期同様の減少幅で推移すると見込まれています。

小売業

前期（23 年 9 月）と比較すると、業況は水面下ながら大幅に改善しています。売上高も減少幅が大きく縮小しました。

価格面では、販売価格が大幅に改善しましたが、仕入価格は依然厳しい状況となりました。

業種別に見ますと、「衣料・身の回り品」「日用雑貨」は特に大幅に改善し、「食料品」も大幅に持ち直し、「余暇関連」はわずかに上向きました。「耐久消費財」は前期同様の厳しさが続きました。

今後 3 か月の見通しの業況は悪化幅が特に大きく縮小すると見込まれており、売上高は幾分回復の兆しが見られると予想されています。

この調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

大田区産業経済部産業振興課

TEL : 3733-6181 FAX : 3733-6103

E-mail : sangyo@city.ota.tokyo.jp